

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【施策名：(2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化 【3】 基準の見直し】

バックアップ時間の見直しによりコスト縮減

概要：UPS、直流電源装置のバックアップ時間を短縮

(従来)	(新)
30分	10分

効果

・電力事情等を考慮し、停電保持時間（バックアップ時間）を30分から10分とすることにより汎用の電源装置だけの設置となり、コスト縮減になる。

J S 全体で機器費を、95百万円から55百万円に縮減。
(全国約80箇所 縮減額 40百万円、縮減率 約42%)

(従来)



保持時間30分として補助バッテリーを併設する。

(新)



保持時間10分としたことで、汎用バッテリーのみの設置となる。